

# 平成26年度 事業状況

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム         | ほほえみ福寿の家                        |
| 2. 短期入所生活介護          | ほほえみ福寿の家                        |
| 3. 通所介護              | デイサービスセンターほほえみ                  |
| 4. 認知症対応型通所介護        | まなびやデイサービスセンターほほえみ              |
| 5. 訪問介護              | ほほえみ訪問介護事業所<br>(介護保険・障害福祉サービス)  |
| 6. 軽費老人ホーム           | ケアハウス桜                          |
| 7. 認知症対応型共同生活介護      | ほほえみごこち                         |
| 8. 認知症対応型共同生活介護      | ほほえみごこち田原                       |
| 9. 小規模多機能型居宅介護       | ほほえみごこち田原                       |
| 10. 居宅介護支援事業所        | ほほえみ介護相談センター、<br>ほほえみ介護相談センター本町 |
| 11. 関市中央第4地域包括支援センター |                                 |
| 12. 情緒障害児短期治療施設      | 児童心理療育施設 桜学館                    |
| 13. 事業所内保育施設         | ほほえみ保育園                         |

# 社会福祉法人桜友会 理念

1. 人間らしく安心して生活を送るための支援をする
2. 地域の中で共に生きる
3. 利用者も地域住民も職員も心豊かに

## 平成26年度 法人目標

1. 事業所間の緊密な連携と資源の有効活用
2. 地域におけるリーダーシップをとる、またそのためのスーパービジョンを持った指導的職員の育成

### 1. 特別養護老人ホーム ほほえみ福寿の家

#### 平成26年度品質目標

部課名	取り組み内容	達成状況
そよかぜの街	1. ご利用者1日平均1,500cc以上の水分摂取を促し、その達成率が80%以上	24.1%
	2. 日頃の業務の中で効率的に業務が出来るような業務改善提案、あるいはご利用者支援にあたりサポート提案を出す。 月1件以上/1人	58.5%
	3. 年間で決めた勉強会の内容について、職員が二人一組となり主導的に資料作成・勉強会の実施 2か月に1回実施	100.0%
新緑の街	1. 介助方法の見直し、介護負担軽減に努め入所者個々の個別援助計画を作成	90.0%
	2. 業務に対してのアンケートを実施し、職員から疑問・提案を検討する。	80.0%
	3. 検討事項の有効性を評価し疑問・提案等を出した職員が司会進行する検討会を実施する。	90.0%
こもれびの街	1. 入所者の歩行 対象者の合計が1日平均100mを実施する。 ※対象者以外の方は個々の状態に合わせた支援を実施する。	59.0%
	2. 居室やホールなど家庭的な環境を整える	10.0%
	3. こもれび職員を4つのグループに分け、勉強会を担当制とし実施する。 2か月に1回	100.0%
	4. ユニット行事や地域行事を活用し住民の方との交流を実施する。6回/年	100.0%
せせらぎの街	1. 職員の良い事みつけ せせらぎ職員全体で月30件以上	89.0%
	2. 地域の小学校・保育園と行事交流 6回/年	100.0%
	3. せせらぎ全体の水分摂取量 1日平均1,500cc以上	72.3%

#### 入所者状況(H27.3末現在)

		そよかぜの街	新緑の街	こもれびの街	せせらぎの街	全体	
年 齢	最年少	67歳	78歳	73歳	75歳	67歳	
	最高齢	96歳	102歳	95歳	99歳	102歳	
	平均	全体	84歳	88歳	85歳	87歳	87歳
		男性	76歳	84歳	88歳	85歳	83歳
	女性	86歳	93歳	84歳	88歳	88歳	
要介護度 ( )内は 前年度	1	0名	0名	0名	0名	0名	
	2	1名	2名	1名	7名	11名	
	3	11名	8名	6名	10名	35名	
	4	8名	7名	6名	15名	36名	
	5	4名	9名	7名	8名	28名	
	合計	24名	26名	20名	40名	110名	
		平均介護度 3.60 (3.70)	平均介護度 3.88 (3.90)	平均介護度 3.95 (3.90)	平均介護度 3.75 (3.70)	平均介護度 3.86 (3.80)	

#### 今後の活動に向けて

- ・特養全体では、介護力向上の取り組みの継続と共に褥瘡予防委員会も立ち上げご利用者ケアの充実を図る。また、入院床を減少できるよう日頃のケアの充実、利用者の状態観察、異常の早期発見・対応に努める。
- ・そよかぜの街では、認知症の方に対する理解を深めるため外部研修への積極的な参加・施設での復命研修をすることで、その方を理解した対応に繋げ、安心して施設での生活を送っていただけるよう取り組む。また、業務の見直し・改善を随時行い、その時に求められるケアの実施に取り組んでいく。

- ・新緑の街では、介護職員の役割、私たちに求められる事を再度学び、ご利用者の方に満足して過ごしていただけるよう自分達で計画した事に対し責任を持ち、進捗を確認しながら実施していく。また、基本知識・技術についても振り返りチームケアを実現し意識統一が図れるように努める。
- ・こもればの街では、ユニットケア実施に向けて他施設への見学研修から当施設で取り入れていける所を検討し実践していく。また、オムツ0の取り組みの継続の中で、入所者の快適な生活の提供と皮膚トラブルの防止に努める。
- ・せせらぎの街では、介護力向上の取り組みを継続させ、27年度においては基本姿勢となる椅子への座り変えから常食化に向け取り組みをする。また、ご利用者、職員共に安全で安楽な介助の実践のため、持ち上げない介助の知識・技術を学び介護の質を高める。

## 2. 短期入所生活介護 ほほえみ福寿の家

### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. 1か月の満床率98%以上。	66%
2. 負担の少ない介護技術の勉強会2か月に1回以上。	83%
3. 利用者または居宅事業所へチラシによる情報発信2か月に1回。	100%

### 満床率

(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H25	97.0	98.0	97.8	95.5	94.9	96.7	97.7	98.2	91.5	94.7	98.2	103.7	97.0
H26	101.6	98.9	101.6	101.3	99.6	100.8	94.7	94.7	102.3	93.5	92.3	98.5	98.3

### 今後の活動に向けて

- ・持ち上げない介護技術を積極的に導入し継続的に実践する事で、職員の力量アップと質の高い介護サービスが提供できるショートステイにする。
- ・多種多様なボランティアを開拓し、多くのボランティアを受け入れて活動して頂く事で、利用者が余暇時間を有意義に過ごすことができるショートステイにする。
- ・サービス提供中に体調不良等が起きないように、適切かつ丁寧な対応を行う事によりショートステイの利用率の維持向上に繋げていく。

## 3. 通所介護 デイサービスセンターほほえみ

### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. ケアマネージャー、地域への情報発信を行い利用日追加や新規利用者を獲得する。 1か月の稼働率 97%以上	33.3%
2. 選択レクリエーションの実施 1か月1件以上	100.0%
3. 研修チームによる参加型の勉強会 の開催 2か月に1回	100.0%

### 利用者状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用延べ人数	1,011	989	983	1,039	972	1,056	1,050	941	971	940	904	1,022	989.8
1日平均利用人数	33.7	31.9	32.8	33.5	31.4	35.2	33.9	31.4	32.4	32.4	32.3	33.0	32.8
口腔機能向上実施 延べ人数	15	15	15	17	17	19	19	17	15	15	15	13	16.0
機能訓練実施 延べ人数	593	617	573	634	597	623	649	572	588	555	522	596	593.3

### 今後の活動に向けて

- ・利用実績については、新規契約者の半数以上が当法人のケアマネージャーである為、他事業所からの利用者獲得に向け、個人の目標に沿った個別リハビリの実施とアクティビティ活動の見直しを行いケアマネージャーにアピールが

できる「ほほえみの特色」を明確にしていきたい。また営業活動については、毎月1回は居宅支援事業所を訪問できるよう日程を決め、モニタリング、各種計画書等を手渡しすると共に空き情報や施設の取り組みを説明していきたい。

- ・リハビリについては、3か月に1回のペースでご利用者宅を訪問し、リハビリの目的、目標を明確にした上での運動メニューが提案できるようにしていきたい。また看護師のスキルを上げる為に花咲き庵の理学療法士による勉強会を定期的に開催していきたい。
- ・レクリエーションについては、午後からの活動の選択肢を増やし、選ぶ楽しみや個人の好きなこと、趣味が活かせるようなシステムを検討していきたい。
- ・個人の生活目標と関連させながら、残存機能の活用、自立支援を目標に、施設中でのご利用者の役割作りの提案をしていきたい。

#### 4. 認知症対応型通所介護 まなびやデイサービスセンターほほえみ

##### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. ケアマネージャーに認知症ケアに対する情報発信、営業活動を行い新規利用者を獲得する。 稼働率50%以上	0%
2. ご家族との面談や電話連絡を行い、家族が困っていること(課題)を見つけ、ケアの方向性を検討する。 1回/月/人	33%
3. 認知症の理解、知識を深めるための勉強会を開催する。 1か月に1回開催	67%

##### 利用者状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用延べ人数	23	37	44	44	40	44	64	62	80	86	64	54	53.5
1日平均利用人数	1.3	2.1	2.4	1.6	1.5	1.7	2.3	2.4	3.0	3.4	2.6	2.0	2.2

##### 今後の活動に向けて

・利用者獲得が今後の課題であるため、施設見学を通して得たノウハウを活かし環境作りに努めるとともに認知症対応型デイサービスの特色(個別ケア)がケアマネージャーにアピールできるようケアマネージャーを対象にした施設見学会を企画していきたい。また、個別ケアを通じてどのように問題点が改善できたかが重要であるため、職員同士の情報共有と3か月ごとにカンファレンスを行い対応方法について検討していきたい。

#### 5. 訪問介護 ほほえみ訪問介護事業所(介護保険・障害福祉サービス)

##### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. ご利用者にご満足していただけるサービス提供を実現させ利用率向上に繋げていく。620時間/月延	104%
2. 介護計画を理解し、援助内容の向上を図りご利用者からのクレームを減らす。	100%
3. 同行訪問での指導力、伝達力を向上させる勉強会の実施。 1回/2か月	100%

##### 利用者状況

(訪問介護 介護保険)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	14	12	13	13	9	5	4	9	7	7	23	18	134
要支援2	8	33	25	43	39	45	54	45	40	60	55	57	504
要介護1	113	98	103	104	108	181	180	207	201	163	137	157	1,752
要介護2	207	218	220	249	245	192	263	263	266	257	282	276	2,938
要介護3	118	159	112	125	119	163	139	141	128	117	84	123	1,528
要介護4	26	27	66	58	78	24	26	40	31	26	22	56	480
要介護5	25	54	68	113	107	95	28	25	25	20	16	29	605
延べ人員計	511	601	607	705	705	705	694	730	698	650	619	716	7,941
平均介護度	2.24	2.82	3.00	3.60	3.65	3.30	2.05	2.04	2.02	1.99	1.91	2.10	30.72

(訪問介護 障害福祉サービス)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	4	5	3	5	4	4	1	0	0	0	0	0	26
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	2	8	10	6	10	8	8	8	60
区分なし	3	6	32	28	30	36	42	36	40	38	36	44	371
延べ人員計	7	11	35	33	36	48	53	42	50	46	44	52	457

### 今後の活動に向けて

- ・平均利用時間647.46時間と目標の104%達成することができた。対応するヘルパーの稼働状況も考え安定したサービスができるようにしたい。
- ・登録ヘルパーのシステムを活かし、勤務時間・出勤日数を調整し継続して仕事ができるよう支援していきたい。
- ・職員の結束も必要であり、次年度は職員の交流会などを開催し、職員のチームワークを高め、職員間で支え合っていきたい。
- ・身体障害者の利用が増えた。精神障害者と違い利用が安定している。身体障害者は意思の疎通など難しいが、意思はしっかり持ってみえるので、寄り添った対応ができるようにしていきたい。
- ・障害児のご利用者がみえ、契約者は親であり、介護保険とは違い家族が抱えるニーズも将来的な観点や社会参加等支援の内容に違いを感じる。適切な対応ができるよう、職員の力量を上げていきたい。
- ・障害利用者は3名だが、どの方もヘルパー2人対応の入浴介助で、身体も大きく、職員の介護負担が増えないよう、身体援助技術を向上させ、安楽な介護ができるようにしていきたい。

## 6. 軽費老人ホーム ケアハウス桜

### 平成26年度品質目標

目標に対する取り組み	達成状況
1-①. 桜学館・児童、ボランティア様の協力を受けながら、入居者様に果樹園の手入れ等に参加いただくよう支援する。 1回/月	100%
1-②. 他部署と協働しながら、入居者様に他部署のレクへの参加をはたらきかける。 1回/2ヶ月	100%
2. 他部署とも協力しながら、高齢者団体等を通じて地域に向けてケアハウスをPRする。 3回/年	100%

### 今後の活動に向けて

- ・職員の「気付き」を養い、入居者様の変化にいち早く気付き情報を共有し「気付き」に基づいたカンファレンスを開催し、ADLの維持・安心・安全にお過ごしいただけるよう努める。
- ・26年度は、他部署を招き行事に参加していただいたことで、入居者様より他部署の方と話ができて楽しい時間が過ごせたとの声が多く聞かれ、特に流しそうめん、たこ焼きと食に繋がる行事は好評だったため27年度は、季節を感じ味わっていただく行事を開催し、参加していただく。
- ・26年度はPR活動を行った際、ほほえみ＝特養との認識が強く、ケアハウスを知らない方が多いことを実感した。27年度は、季節を味わっていただく行事開催時にほほえみにご協力いただいているボランティア様をお招きしケアハウスを知っていただき友人・兄弟等を紹介いただき待機者を募る。



今後の活動に向けて

- ・認知症ケアに関する知識を向上し、質の高いケアが提供できるようにしていく。
- ・基礎的介護技術の知識を向上し、より安心して安全に暮らせる体制作りをする。
- ・ヒヤリハットの重要性を理解してもらい、事故に繋がらないよう職員同士で意識を高められるようにする。

9. 小規模多機能型居宅介護 ほほえみごこち田原

平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1ー①. 入退所検討会で自部署の利用状況や現利用者の状態、新規申込者等の情報を共有し、最適なサービスを検討する。	70%
1ー②. 他部署の不適合・ヒヤリハット内容で自部署にも関連する事例をミーティングで月1件以上は検証する。	100%
2ー①. 7月に当施設で開催する七夕会、11月田原文化祭で介護相談会を開催する。	100%
2ー②. 田原小学校の生徒を対象に介護の職場体験を開催する。	100%

利用者状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い延べ	411	423	380	430	453	444	432	445	447	407	413	469	429.5
泊り延べ	217	226	218	224	242	225	225	249	246	222	214	225	227.8
訪問延べ	17	16	40	99	81	91	41	37	47	58	51	68	53.8
登録人数	19	19	19	21	23	24	23	23	25	25	25	24	22.5

今後の活動に向けて

- ・認知症ケアに関する知識を向上し、質の高いケアが提供できるようにしていく。
- ・基礎的介護技術の知識を向上し、より安心して安全に暮らせる体制作りをする。
- ・小規模29名登録に向け、地域と他事業所との連携を強化する。

10. 居宅介護支援事業所 ほほえみ介護相談センター、ほほえみ介護相談センター本町

平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. ミーティングでの社会資源情報の伝達 月1回以上	100%
2. 職員会議など施設内の会議における地域の社会資源情報の伝達 月1回以上	100%
3. 関市居宅介護支援専門員連絡会への参加・情報の伝達 開催月参加4名以上 当法人での連絡会開催 年1回以上	100%
4. 安桜、桜ヶ丘、田原、東部民生委員定例会への参加、情報伝達 年2回以上	75%
5. 新規受け入れ件数 月10件以上	75%

利用状況(ケアプラン作成実績)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稲口	介護	114	119	123	121	119	120	126	121	126	124	119	117	1,449	120.8
	予防	17	17	21	21	21	17	20	17	22	19	21	22	235	19.6
本町	介護	74	78	76	76	77	82	83	83	83	83	88	93	976	81.3
	予防	8	8	12	11	11	12	11	12	12	13	13	14	137	11.4

今後の活動に向けて

- ・全体の実績向上を目指し、8月から部課別品質目標の取り組みに新規利用者件数10件以上を追加した。新規利用者確保のために、過去に利用にならなかった方や利用が中断している方への連絡を定期的に取り、包括へつなぐことによって利用に結びつく活動を継続して行った。その結果、第1包括からの依頼が多数あり、新規利用増につながった。
- ・26年度はスーパービジョンの視点で行う事例検討会を7回行ったが、内容の理解にまでは至らなかった。27年度は

事業所としてスーパービジョン体制を構築できるようにしていく。事例検討を行う前にスーパービジョンの手法を用いた事例検討の方法について再認識し、理解を深めた上で継続的に行っていく。また、各主任ケアマネで担当を決め、職員に対するスーパービジョン面談を定期的に行う。このことにより、各職員が自身の業務について見つめなおし、気づきを得ることで、現在受け持っている利用者様の自立支援に繋がるケアプランの作成が行えるように導いていく。

## 11. 関市中央第4地域包括支援センター

### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1. 地域の方々に地域包括支援センターを広く知ってもらい、気軽に相談できる相談窓口としての機能を果たすために所在や役割をPRしていく。	100%
2. 地域の特性を知り、地域に必要なサービスを提供し、支援していけるよう地域へ出向いていく。	100%
3. 支援困難事例について地域ケア会議及び個別ケア会議を開き、関係機関や民生委員・地域の協力者等と連携しながら支援をしていく。	100%

### 利用状況

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
相談	34	33	28	29	41	61	98	56	59	69	48	73	629	52.4
訪問	82	128	113	136	140	133	126	136	147	111	104	123	1,479	123.3

### 今後の活動に向けて

- ・地域包括の役割を知ってもらうために、多くの市民が訪れる窓口にチラシを置いて、更に積極的な周知アピールをする。また、日頃の活動の中で常にチラシを携帯し、必要時に配付していく。
- ・民生委員の定例会、地区集会等に積極的に参加し、包括への理解と信頼を深める。
- ・困難事例への取り組みをさらに強化し、市、担当民生委員、関係機関との情報共有及び解決策を協議する。
- ・一次予防事業として各地区に包括主催の運動教室を開催していく。

## 12. 情緒障害児短期治療施設 児童心理療育施設 桜学館

### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1-①. 職員会議での子ども人権啓蒙、情報共有 1回/月	92%
1-②. 月ごとの子どもの人権擁護強化項目を提示し実践 1回/月	83%
2-①. 自立支援計画を期限内に作成、提出	75%
2-②. 入所・処遇困難カンファレンス 2回/月	83%
3-①. 治療プログラム委員会の実施 1回/月	92%
3-②. 心理SVの実施 1回/月	92%
4-①. 危機管理情報の提示と共有 1回/週	92%
4-②. 必要に応じた危機対策会議の設置	60%
5-①. 支援改善・環境改善プレゼンテーション 1回/月	83%
5-②. 資質向上・技術継承のためのOJT実施 1回/月	83%

### 利用者状況

(単位:人)

(入所児童)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	35	38	39	40	41	41	42	42	42	43	43	43	40.8
23年度	31	32	33	34	36	36	38	37	38	38	39	39	35.9
24年度	31	32	29	30	31	34	35	38	40	40	42	42	35.3
25年度	36	36	37	35	35	35	35	35	35	36	37	38	35.8
26年度	27	29	28	28	27	28	29	31	29	29	32	37	29.5



(通所児童)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8
23年度	4	4	4	4	4	4	5	5	5	6	5	5	4.6
24年度	5	5	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3.3
25年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
26年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0

#### 今後の活動に向けて

- ・重点課題として、心理職のより一層の充実と効果的实践、医療との連携を強化し心理療法の専門性を前面に出すとともに、リスクマネジメントの強化に向けて職務分掌や体制を見直していく。
- ・関係機関や市町村、教育機関への定期的訪問による啓蒙活動は継続して行い、広く地域と連携しながら社会に潜在する要保護児童を早期に保護し、桜学館での心理療育が最も有効であると評価を得られるよう努める。
- ・職員の資質は、家庭復帰等の実績に表れていて協働している関係機関から評価を得ており、施設の財産である。

### 13. 事業所内保育施設 ほほえみ保育園

#### 平成26年度品質目標

取り組み内容	達成状況
1ー①. 他事業所に向け園児たちで作品を制作し笑顔とともに届ける。 1回/3か月	100%
2ー①. 毎月の園での取り組みに加え、園児一人一人の2か月間を振り返った成長の変化等を園便りにて知らせる。 1回/2か月	100%
2ー②. 月極め利用園児の毎月の成長に応じた計画を立て、必要に応じて改善する。 1回/月	100%

#### 利用者状況

(単位:人)

登録園児	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
桜友会職員	7	8	6	5	3	2	31
明萌会職員	0	3	1	3	0	3	10
地域	1	0	0	0	2	0	3
合計	8	11	7	8	5	5	44

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人員	22	18	14	20	21	14	16	19	22	23	20	27	19.7
延べ人数	152	117	113	183	180	139	136	186	192	201	221	290	175.8
1日平均	5.4	4.3	4.3	6.5	5.8	4.6	4.5	6.4	6.4	6.9	7.9	9.4	6.0

#### 今後の活動に向けて

- ・平成27年3月から定員15名とした。育児休業から復帰した職員の子だけでなく、就業前の子を持つ保護者が子を預けられる法人であるので就労を希望し新規採用した職員もいる。引き続き事業所内保育園を広報し新規職員の確保の一助を担うとともに利用園児の確保に努める。
- ・ほほえみ保育園の特徴とする併設老人施設との交流は、年間を通じて各老人事業所へ出向き、お年寄りと交流し可愛がっていただけた。平成27年度も交流回数を見込み目標値に掲げ、積極的に交流する中で温かい心を育てていきたい。